

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330212045	こども生活学 I Children's Life Studies I	栗村 正仁			2	必修	1後期

科目の概要

この科目は、まず、子どもを取り巻くいくつかの教育問題の検討を行いながら、保育・教育の世界を考察（探究）するうえで必要なものの見方や考え方の枠組みを身につけたうえで、子どもたちと、彼らを巡る社会の動向についての基礎知識を得て、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭の資格を生かして、保育・教育環境を中心とするより良い社会環境について考察できる力を育てることを目的とする（DP②）。これらの学びを通して、四大精神にもとづくバランスの取れた諸能力と一般的知識・技能を基盤として（DP①, ⑤）、保育・教育の現場での実践力を養うことを目指す（DP④）。

学修内容	到達目標
① 教育問題の問い方を理解する。 ② 子どもの発達・発育について理解する。 ③ 教育者・保育者としての子どもへの関わり方を知る。 ④ 子ども一人ひとりの特性を考慮し、ニーズに応じた対応を検討する。 ⑤ 子ども達を巡る社会の動向について理解し、より良い社会環境について考察する。	① 教育問題の問い方を理解できる。 ② 子どもの発達・発育について述べるができる。 ③ 教育者・保育者としての子どもへの関わり方を説明することができる。 ④ 子ども一人ひとりの特性を考慮し、ニーズに応じた対応を具体的に述べるができる。 ⑤ 子どもたちを巡る社会の動向について理解し、より良い社会環境について考察できる力を身に付ける。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性 子どもたちを巡る社会の動向について理解し、より良い社会環境について考察するため、主体的に課題を見つけて取り組むことができる。
	働きかけ力
	実行力 課題を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力 事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力
	創造力 物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力 整理した内容を的確なことばや文章で表現できる。
	傾聴力 他者の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。
	柔軟性
	状況把握力
	規律性 遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。提出物を期限内に提出することができる。
	ストレスコントロール力

テキスト及び参考文献

参考文献
 田中耕治ほか『教育をよみとく—教育学的探究のすすめ—』有斐閣、2017年。
 前島康夫『現代社会の危機と子ども・若者—どの子にも豊かな遊びと平和な子ども期を— 上』花伝社、2024年。
 前島康夫『現代社会の危機と子ども・若者—どの子にも豊かな遊びと平和な子ども期を— 下』花伝社、2025年。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「こども生活学 I」は専門科目の共通領域に配置され、「こども生活学 II」の基盤となる科目である。

学修上の助言	受講生とのルール
教育問題や現代社会を批判的に捉えるためのスキルや材料を獲得してください。	①遅刻3回で欠席1回とするともに、授業開始後20分以上の遅刻は欠席扱いとする。 ②課題を提出したと認定されるには、提出期限等の指示を守る必要がある。 ③授業中に配布した資料は、一部を除き本学e-Learningシステム (Google Classroom) で配信する。欠席時における配布資料の補充や自主学修等で活用されたい。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	50	①	✓	(獲得) 子どもたちを巡る問題や社会の動向を理解する。(40%) (活用) 関連、内包する諸要素及び課題を抽出する。(40%) (解決) 抽出した課題に対する解決策を提案する。(20%)	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
レポート			0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		40	①	✓	(獲得) 子どもとSNSに関する概況を理解する。(30%) (活用) 子どもとSNSに関する課題を抽出し、考察を行い、図や表、写真等を用いて表現する。(30%) (解決) 課題の解決についてグループワークにより発表する。(40%)		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓	(主体性) 到達目標を達成するという目標に向かって指示が無くても、課題を自ら見つけて取り組むことができる。 (実行力) 課題を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。 (課題発見力) 事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。 (創造力) 物事を考える時に、固定概念に捉われないことと、いろいろな方向から考えることができる。 (発信力) 整理した内容を的確なことばや文章で表現できる。	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>①子どもを取り巻く諸問題と社会の動向を理解した上で、自分独自のアイデアを盛り込み、解決方法を分析することができる。</p> <p>②試験と発表において、自分の考えを伝わりやすく述べることができる。</p> <p>上記をA(優)とし、それ以上の成果が見られる場合にS(秀)とする。</p>	<p>上記のA評価ほどの到達がないとしても、子どもを取り巻く諸問題と社会の動向に対する一応の理解を示し、自分なりに精一杯頑張って課題解決のための分析をし、解決方法を述べる事ができた場合はB(良)評価とする。</p> <p>それよりも低い評価の場合はC(可)評価とする。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	ガイダンス 教育問題の問い方①— 早期教育— ・何事も早い時期から 教えたほうがよいの か？	・講義 ・グループワーク ・Google Classroomを 活用した資料の共有 ・質疑応答	早期教育の盲点や、臨 界期・発達段階という 考え方を理解できる。	(予習)「早期教育」 の具体例について調べ る。 (復習)「早期教育」 についてポイントを整理 し、自分の考えをまと める。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	教育問題の問い方②— 学力低下— ・ゆとり教育は学力低 下を招いたのか？	・講義 ・グループワーク ・Google Classroomを 活用した資料の共有 ・質疑応答	学力低下問題の真相 や、学力低下をよみと くための4つの視点を 理解できる。	(予習)「ゆとり教 育」について調べる。 (復習)「ゆとり教 育」についてポイント を整理し、自分の考え をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	教育問題の問い方③— いじめ— ・道徳教育でいじめ問 題は解決できるか？	・講義 ・グループワーク ・Google Classroomを 活用した資料の共有 ・質疑応答	いじめ問題の盲点や、 いじめの構造を理解で きる。	(予習)「いじめ」に ついて調べる。 (復習)「いじめ」に ついてポイントを整理 し、自分の考えをまと める。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	教育問題の問い方④— 個性尊重— ・日本の授業は画一的 か？	・講義 ・グループワーク ・Google Classroomを 活用した資料の共有 ・質疑応答	「個性」と「個人差」 の違いや、個性の尊重 と協同的な学びについ て理解できる。	(予習)「個性」と 「個人差」について調 べる。 (復習)「協同的な学 び」についてポイント を整理し、自分の考え をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	教育問題の問い方⑤— 格差— ・本人の努力の問題 か？	・講義 ・グループワーク ・Google Classroomを 活用した資料の共有 ・質疑応答	格差をめぐる様々な言 説や、格差問題に立ち 向かうための視点を理 解できる。	(予習)「学力格差」 について調べる。 (復習)「学力格差」 についてポイントを整理 し、自分の考えをまと める。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	諸調査に見る子ども・ 若者 ・子ども・若者を中心 とした様々な調査に基 づき、日本の子ども・ 若者の意識の歴史的変 化と特徴を学ぶ	・講義 ・グループワーク ・Google Classroomを 活用した資料の共有 ・質疑応答	子ども・若者の意識や 要望等の現状から、彼 らを巡る現代社会の動 向を理解できる。	(予習)子ども・若者 を巡る現代社会の動向 について調べる。 (復習)子ども・若者 の意識や要望等につい てポイントを整理し、 自分の考えをまとめ る。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	「よい子」を巡る問題 ・今日の新自由主義社 会日本における「よい 子」の問題を学ぶ	・講義 ・グループワーク ・Google Classroomを 活用した資料の共有 ・質疑応答	「よい子」の抱える 「息苦しさ＝閉塞感」 や「生きづらさ」を、 その社会的背景ととも に理解できる。	(予習)「よい子」に ついて調べる。 (復習)「よい子」に ついてポイントを整理 してまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	子ども・若者の「自 死」について ・日本における子ど も・若者の「自死」に ついて、その背景にあ る「孤独・孤立」を巡 る問題とともに学ぶ	・講義 ・グループワーク ・Google Classroomを 活用した資料の共有 ・質疑応答	子ども・若者の自死の 実態や背景を、「孤 独・孤立」の社会問題 とともに把握すると ともに、政府・文科省 の「SOSの出し方に関 する教育」の概要と克服 すべき課題を理解でき る。	(予習)現代社会の孤 独・孤立の問題につい て調べる。 (復習)「SOSの出 し方に関する教育」につ いてポイントを整理し てまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	登校拒否・ひきこもり問題について ・登校拒否・ひきこもりの増加とそれに伴う様々な支援組織の概況や問題解決のための議論を学ぶ	・講義 ・グループワーク ・Google Classroomを活用した資料の共有 ・質疑応答	登校拒否やひきこもりに関する概況を把握したうえで、そうした行動を「問題行動」ではなく、既存の学校や社会の在り方を問う「問題提起行動」として捉える視点があることを理解できる。	(予習) 登校拒否・ひきこもりについて調べる。 (復習) 登校拒否・ひきこもりについてポイントを整理してまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	「トータルキッズ」等と自傷行為をめぐる問題 ・「トータルキッズ」や自傷行為の現象の捉え方とその動向や背景、問題を克服するためにはどうすればよいのか学ぶ	・講義 ・グループワーク ・Google Classroomを活用した資料の共有 ・質疑応答	「トータルキッズ」や自傷行為の現象を、現代の子ども・若者の抱える「生きづらさ」の現実やその社会構造とともに捉え、問題を克服するために求められていることを理解できる。	(予習) 「トータルキッズ」の実態について調べる。 (復習) 「トータルキッズ」や自傷行為についてポイントを整理してまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	虐待を巡って ・児童虐待の現状や歴史的経緯、虐待を防ぐ方法を学ぶ	・講義 ・グループワーク ・Google Classroomを活用した資料の共有 ・質疑応答	競争的な学校環境の問題を背景とした新たな虐待形態も出現している児童虐待の現状を把握し、虐待を防ぐ方法を理解できる。	(予習) 児童虐待について調べる。 (復習) 児童虐待についてポイントを整理してまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	子どもとSNSを巡る問題① ・関連する動画を視聴し、発表のためのスライドを作成する	・講義 ・動画視聴 ・グループワーク ・ICTを活用したプレゼンテーション資料作成 ・Google Classroomを活用した資料の共有 ・質疑応答	子どもとSNS (Social Networking Service) に関する動画を視聴し、これまでの授業内容を踏まえたり、データなどを引用したりしながら、自らの考察を加えてスライドにまとめることができる。	(予習) 子どもとSNSの実態について調べる。 (復習) 子どもとSNSに関するデータ等を加えながら考察し、スライドを完成させる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	子どもとSNSを巡る問題② ・作成したスライドを用いて発表する	・グループワーク ・発表 ・ICTを活用したプレゼンテーション ・Google Classroomを活用した資料の共有 ・質疑応答	子どもとSNSに関する動画を視聴し、これまでの授業内容を踏まえたり、データなどを引用したりしながら、自らの考察を加えてスライドにまとめ、発表することができる。	(予習) 子どもとSNSに関するデータ等を加えながら考察し、スライドを完成させる。 (復習) 他者の発表を振り返り、良かった部分を分析して、自分のスライドに取り入れる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	子どもとSNSを巡る問題③ ・作成したスライドを用いて発表する	・グループワーク ・発表 ・ICTを活用したプレゼンテーション ・Google Classroomを活用した資料の共有 ・質疑応答	子どもとSNSに関する動画を視聴し、これまでの授業内容を踏まえたり、データなどを引用したりしながら、自らの考察を加えてスライドにまとめ、発表することができる。	(予習) 子どもとSNSに関するデータ等を加えながら考察し、スライドを完成させる。 (復習) 他者の発表を振り返り、良かった部分を分析して、自分のスライドに取り入れる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	今日の子どもの生活と子育て支援 ・これまでの学修内容のまとめを行いながら、今日の子どもの生活と必要な子育て支援について、現代社会の特徴や状況の相のもとに学ぶ	・講義 ・グループワーク ・Google Classroomを活用した資料の共有 ・質疑応答	子どもの生活の概況を把握し、必要な子育て支援の在り方を理解することができる。	(予習) これまでの学修内容を整理する。 (復習) 必要な子育て支援の在り方についてポイントを整理してまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力